

書道Ⅰ 学習プリント⑦「行書の特徴」

科 氏名

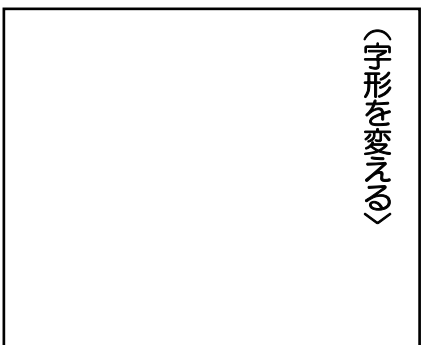
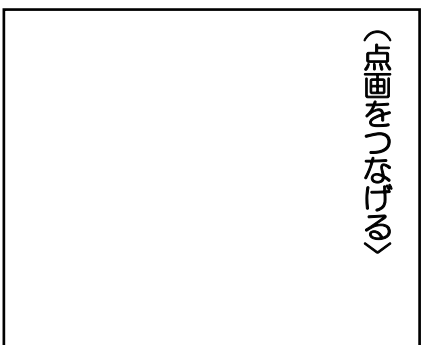
〈本時のめあて〉

○行書の特徴①

○行書は

()の速書きによる

()した書体である。

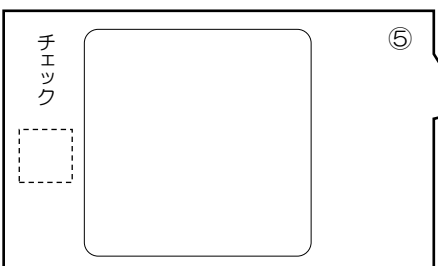
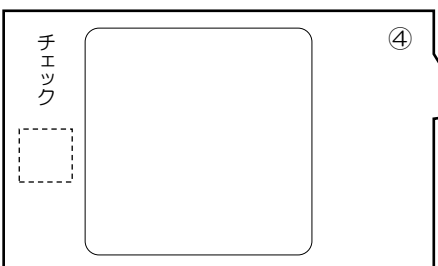
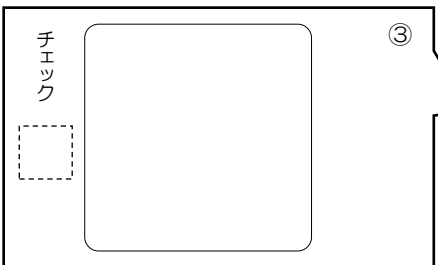
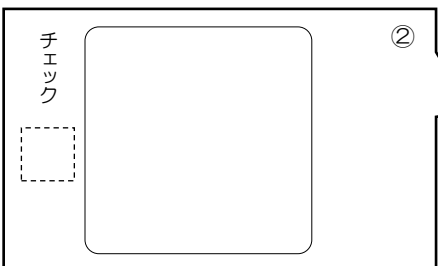
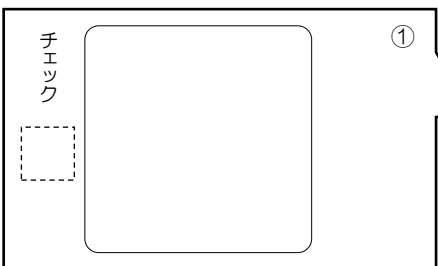


○行書の特徴②

楷書



行書



点画の二つ二つが、気持ちのうえで、また、
形の上でもつながりをもちよう。

筆の弾力を生かして、線に太い細いの差を
付けよう。

書道Ⅰ 学習プリント⑧「蘭亭序」

科 氏名

〈本時のめあて〉

①)

○「蘭亭序」について

(1) 時代 …… (2) (三五三年)

(4))

(2) 書者 …… ③

は、瑯邪臨沂(山東省出身で、楷書・行書から八分・章草にまで及んだ。特に、行草体においては、自然と工夫を調和させた普遍的な美を創始し、現代でも⑤)と称されている。

(3) 内容 ……王羲之が会稽内史在任中の⑥)年(三五三)三月三日、⑦)の地(浙江省)に、

謝安ら会稽の名士四十一人を招き、禊の礼を行ったのち、⑧)の宴を催した。

この時、参加者が作った詩を集めて二巻とし、その⑨)を主催者の王羲之が草稿(下書き)として書いたもの。

○筆脈と字形の確認

「清風」…爽やかな清々しい風。



「感慨」…深く心に響く思ひがたをいふ。

